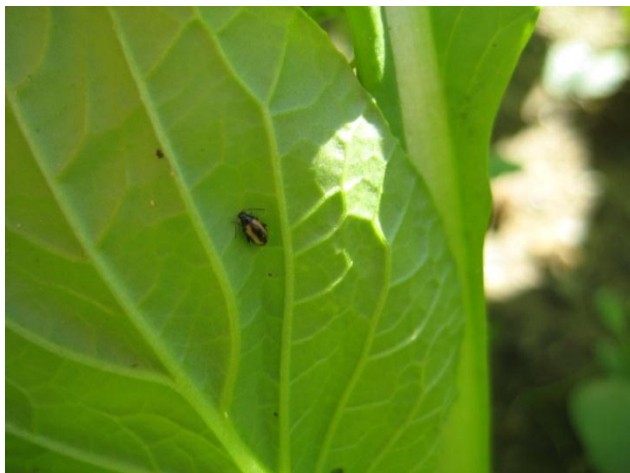


キスジノミハムシ (striped flea beetle)

Phyllotreta striolata



キスジノミハムシ成虫



キスジノミハムシ成虫の食害痕(ミブナ)

発生生態

アブラナ科野菜の害虫です。成虫(写真左)は葉を、幼虫は根を食害します。特にミズナ、ミブナ等の葉菜類が食害を受ける(写真右)と、商品価値が下がります。成虫の大きさは3mm程度で、年4~5回発生します。成虫で越冬します。

防除対策

発生量が少ないうちに、キスジノミハムシに登録のある殺虫剤を散布します。アブラナ科野菜の連作は、発生密度を高めまので回避します。目合い0.8mm以下の防虫ネットで畝面をトンネルしますと、成虫の侵入を防ぎ、被害を少なくすることができます。